

太平洋クロマグロ2018年生まれ 加入量モニタリング情報 (第4報 2019年11月)

国立研究開発法人
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 資源評価に使用している、1980年からの各年漁期(7月から翌年6月)の曳縄漁船の小型魚CPUE(漁獲努力量あたり漁獲量)を長期加入量指標として分析した。
- 2018年生まれ群の加入量指標は、2014年や2015年を上回るが、過去38年の平均を下回る水準だった。

(※1) 近年の曳縄漁業データは地域独自の漁獲枠遵守の取り組みなどによって、操業戦略が変化し、CPUEが加入水準を表現できていない可能性がある。

(※2) 正式な加入量の推定値は、資源評価において、本加入量指標に加え、他の漁業データも合わせて総合的に分析され、確定される。

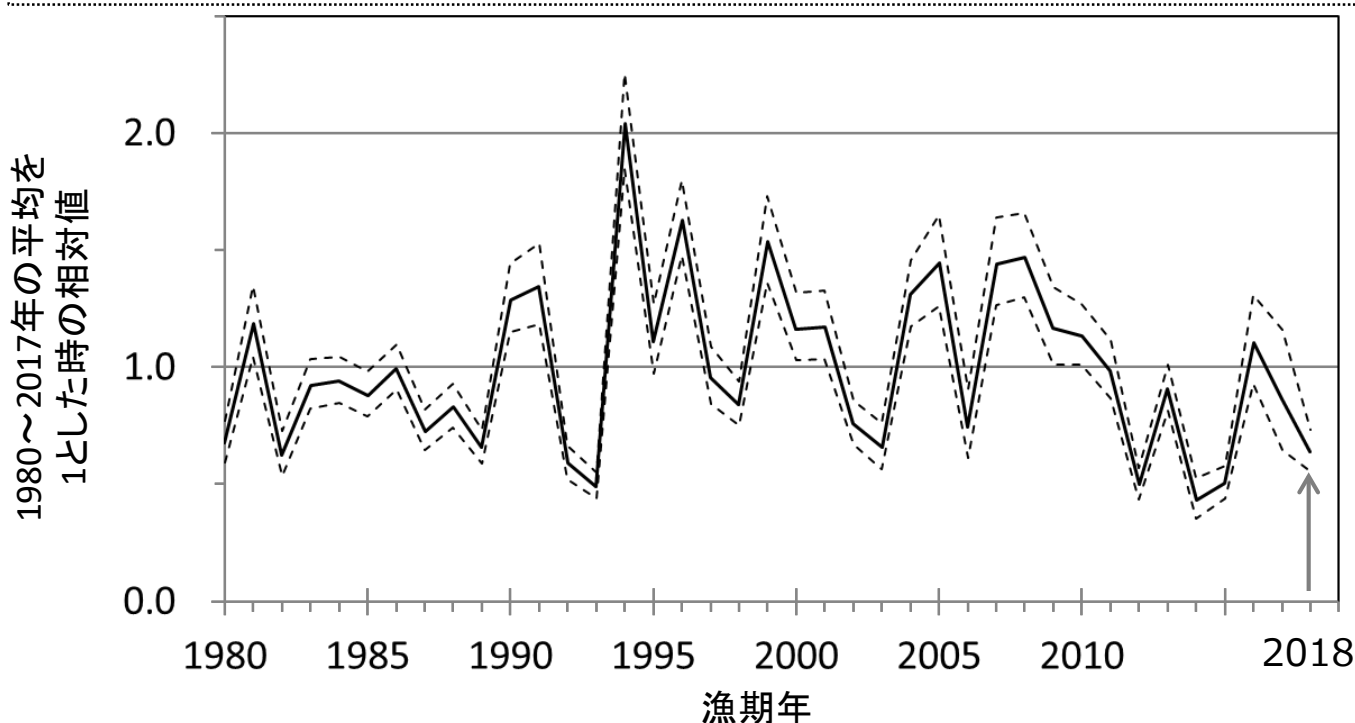


図. 1980~2018年の長期加入量指標(曳縄CPUE)の相対値.
図中の点線は95%信頼区間を示す。